

# 1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	倉敷市立東陽中学校	実践者名	笠原 麻里江
教科	美術	学年	第1学年
活用内容	Google スライドを用いた 模様づくり演習	実践日	令和4年1月12日
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
単元・内容等	平面構成「模様の世界を味わおう」 図形を用いて連続模様を作り、模様の作られ方の一つについて体験的に知る。		

## 活用の概要 (目的・活用場面・使用アプリ名を含む)

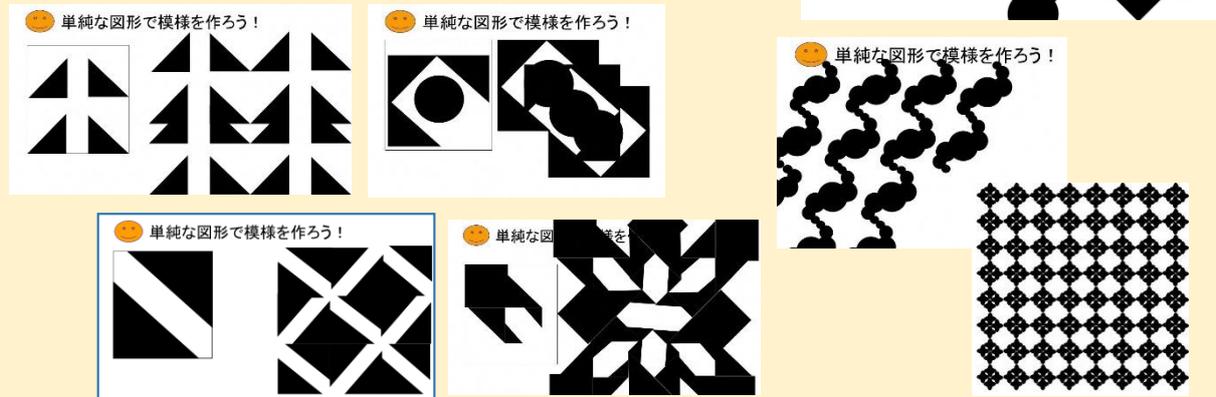
### 【前時まで】

- 生徒は「連続模様」とは、同じ形を並べて配置することで作った模様のことであると学習している。

### 【本時】

- Google スライド上で円・三角・四角の図形を自由に組み合わせ、形を作る。
- 作った形を「グループ化」し、コピーして数を増やす。その際、回したり、重ねたり、大きさを変えたりし、変化を楽しみながら模様を作っていく。

### 【工夫が見られる作品】



### 【課題のある作品】



### 実践者の手ごたえ

紙を切り貼りすることなく形を複数並べたり、消したりできるので便利だった。  
しかし、趣旨や操作説明がうまく伝わっていないと生徒が模様の作り方を考えられずに終わってしまうということも感じた。

### 児童生徒・保護者等の主な反応や声

(生徒の様子)  
すぐ元通りになるので、失敗を恐れず、納得がいくまで挑戦できる。制作中の生徒から「色を工夫してみたい」、「より細かく表したい」といった意見が出てきたことから、主体的に学習に取り組むことができたと考えられる。